

講義名	I. 成長と栄養		II. 生理学と内分泌学		III. 病理学		IV. 薬理学と毒物学	V. 心理学、社会学、人類学	VI. 技術	VII. 臨床的技術				
	A. 乳児	B. 母体	A. 乳汁分泌の生理学	B. 内分泌学	A. 乳児	B. 母体				A. 器具と技術	B. 教育とコミュニケーション	C. 倫理的及び法的問題	D. 研究	E. 公衆衛生と支援運動
母乳育児がうまくいく10のステップと医療者の役割	—	2. 乳房の手術, 3. 母乳の成分	—	—	—	—	—	E. 家族のライフスタイル, F. 支援ネットワークの見つけ方, I. 母親と赤ちゃんとの関係	E. 搾乳 (例: ポンプ, 手による搾乳, 乳汁の漏れ)	1. 授乳用デバイス (例: チューブ, カップ, シリンジ, 人工乳首, パラダイ (インドの授乳用カップ)), 4. おしゃぶり, 5. 搾乳器	4. 母親と家族の教育	5. WHOコード-啓発と政策	1. 科学的根拠に基づく実践の適用	1. 赤ちゃんにやさしい病院運動 (BFHI) の啓発, 2. 母乳代用品のマーケティングに関する国際基準 (WHOコード) 順守の啓発, 3. 保健医療制度内におけるお母さんと赤ちゃんのためのアドボカシー, 5. 政府と保健省庁への啓発
分娩における医学的介入、母体合併症の母乳育児への影響	5. 低出生体重と超低出生体重	—	2. 不妊の問題, 3. 乳汁分泌の誘発, 5. 多胎 (例: 双胎, 品胎)	1. 乳汁産生におけるホルモンの影響, 2. 糖尿病, 3. 母体の代謝内分泌疾患 (例: 下垂体, 甲状腺, 多嚢胞性卵巣症候群), 4. 母体の自己免疫疾患, 5. 新生児の低血糖	7. 在胎不当過小 (SGA), 在胎不当過大 (LGA)	4. 母体の慢性疾患, 11. 子癇前症/妊娠高血圧症候群	D. 薬物 (例: 処方薬, 市販薬, 診断と治療の処置薬, 陣痛と出産の促進剤), F. 避妊法	D. 仕事、職場に復帰する, または就職する, G. 母親のメンタルヘルス	A. 効果的な乳汁移行 (医学的適応のある補足を含む), B. 生後1時間, C. 吸着 (吸い付き方), E. 搾乳 (例: ポンプ, 手による搾乳, 乳汁の漏れ), H. 肌と肌とのふれあい (カンガルーケア)	—	1. 積極的傾聴, 2. 予備的ガイダンス, 3. ケア計画の作成と共有, 4. 母親と家族の教育, 5. 専門家, ピアサポーター, 学生の教育, 6. 精神的サポート, 7. エンパワメント	—	1. 科学的根拠に基づく実践の適用	—
母乳と感染症 (CMV, GBS, HTLV-1 について)	—	—	—	—	—	8. 乳児急性疾患 (感染症、心臓性、代謝性), 9. 垂直感染 (例: HIV, B型肝炎), 上記内容は含まれない	—	G. 母親のメンタルヘルス, H. 母親の心理的問題/認知の問題, I. 母親と赤ちゃんとの関係	—	7. コミュニケーションスキル (例: 仮想映像, 翻訳, または通訳サービス, ウェブサイト)	6. 精神的サポート, 7. エンパワメント	—	—	—
授乳とくすり	—	3. 母乳の成分, 4. 母体の解剖学的問題	—	—	—	3. 母体の急性疾患 (例: 感染性、心臓性、代謝性), 4. 母体の慢性疾患, 5. 母体の障害 (身体的、神経学的), 7. 乳汁産生 (不足または過剰), 8. 乳頭と乳房の状態	A. アルコール, B. ニコチンとたばこ, D. 薬物 (例: 処方薬、市販薬、診断と治療の処置薬、陣痛と出産の促進剤)	G. 母親のメンタルヘルス	—	—	4. 母親と家族の教育, 6. 精神的サポート	—	—	—